

公益財団法人東京都島しょ振興公社

令和元年度第2回理事会議事録

- 1 開催日時 令和元年11月28日(木曜日) 9時30分～10時30分
- 2 開催場所 東京都港区海岸一丁目4番15号
島嶼会館2階会議室
- 3 出席者 理事総数 6名
出席理事 4名
理事長 青沼 邦和 理事 前田 福夫
理事 前田 弘 理事 山下 奉也

監事総数 3名
出席監事 2名
監事 森下 一男 監事 保家 力
- 4 議長 理事長(代表理事) 青沼 邦和
- 5 議事の経過の要領及びその結果
理事長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、理事6名の過半数が出席しており、定款第36条の規定に基づき、理事会の議案に対する決議は成立する旨を告げ、次の報告事項の報告に入った。
- 6 報告事項
 - (1) 令和元年度事業報告(中間)について
事務局長より、標記事項について説明がなされた。
 - (2) 令和元年度決算(中間)について
企画管理課長より、標記事項について説明がなされ、次の質疑応答があった。
(山下理事) 愛らんどフェアに関して今年は有楽町と新橋で開催され、天候状況などもあったが、新橋の方が良い感じがした。
(石田事務局長) 来場者数としては秋に開催した新橋の方が有楽町を上回っている。しかし、客層が異なっていたように感じるため、どちらかを選び固定して開催するのか、交互に開催をしていくのかを考えていく必要がある。来年は島じまんの開催年であり、愛らんどフェアは秋開催のみとなるため、2月に予定をしている理事会、評議員会に諮っていきたい。

(山下理事) 郷土芸能をやる出演者も、新橋の方が良いと言っている。せっかく愛らんどフェアを開催するのに、有楽町では狭くて人が多い。

(石田事務局長) 新橋では太鼓演奏が可能であり、有楽町ではそのあたりでも制限があった。融通は新橋の方がきくのかなと思っている。

(森下監事) スペース的にもだいぶ違ってくるのか。

(山下理事) 全然違う。

(青沼理事長) その件については港区長や関係各所と話をしている。引き続き開催を出ればと伺っており、良い傾向にはあると思っている。

(3) 第5次中期実施計画に基づく「事業の見直し・検証」に係る取組（公社における自律改革）について

企画管理課長及び業務課長より、標記事項について説明がなされ、次の質疑応答があった。

(森下監事) 東京都の宝島事業について公社、地元の自治体を含め、行政との関わりが、今のままでいくと齟齬をきたすことになると思っている。それは東京都に懸念として申し上げた。宝島事業でおそらく考えていることがあり、島の中の意見徴収ということで、観光協会などに色んな意見を聞かれたと思う。そこでアイデアも色々出てきて、島内でも新しいことなどをやっており、素晴らしいことだと思っている。しかし、より新しいものばかりを求めているような気がしている。地元の色んな意見が我々の中である。その目新しいものを発見するのが宝島事業だという考え方だとしたら少し整理をしてもらいたい。整理というのはその考えであればそれでいい。我々自治体はそれを受け止めていく。しかし途中の議論をしていく、その経過についてはもう少し自治体との情報交換があったら良いと思う。そのあたりは実際に仕事の中で感じることはないか。また、他からそういうことを言われたことはないか。

(石田事務局長) 公社の立場では、宝島事業そのものについて発言はしづらいのですが、ただ当然、宝島事業とも連携をして公社の事業を展開していく必要があると思っている。その公社事業と宝島事業の関連性が分からないという意見は各方面から確かに聞いている。今年度の前期で、宝島事業と連携した部分のことを説明させていただくと、地域振興補助事業の中で、毎年3回募集をしているが、宝島事業の中で各島において発掘した良さであったり、まさに宝になる部分というのを更に今後いかしていくような事業に対して補助を出来るよう、新たにテーマを導入したということを公社としては取り組んでいる。また、新たに宝島事業と協定書を締結し、宝島事業の中身というより、宝島事業のPRとして、ロゴを活用した、例えば公社の紙袋に宝島のロゴを今後入れていく、という形での連携を図っている。ただ、宝島事業と公社事業の連携・繋がりが中々外から見えない。公社だけではなく、他の観光系の団体などとの連携・繋がりが同様だが、それが見えないという意見は各方面から聞いている。公社としてもその辺はしっかり、調整をしてやっていきたいと思っている。

(森下監事) こういうことは感じたことを正直に1回は伝えておかないと、宝島事業がどこを目指しているのかがよく見えない。

(山下理事) 全島まとめてという考え方を感ずる。それぞれの島の特性を求めているのかどうか。成果をあげなくてはいけないので、色々なことがあるとは思うが。

(山下理事) 一部では観光部と行政部が取り合っているというようなことを聞く。あちらこちらで中々まとまっていないうに感ずる。

(青沼理事長) 方向性が分からず、全然見えてこないところがある。

(森下理事) 自治体との情報交換など連携の必要性について意見をずる機会があればお願いしたい。

(4) 令和元年度第2回公社運営検討委員会の開催結果について
企画管理課長及び業務課長より、標記事項について説明がなされた。

(5) 理事長の職務執行状況について
企画管理課長より、標記事項について説明がなされた。

以上をもって議事の全部の報告を終了したので、議長は10時30分閉会を宣し、解散した。

上記事項の経過の要領及びその結果を明確にするため、代表理事及び出席監事が記名押印する。

令和元年12月13日

公益財団法人東京都島しょ振興公社

議長 理事長 (代表理事) 青沼邦和

監事 森下一男

監事 保家力